

<目指す学校像>

「人と人との交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年6月 —

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

[学校教育目標]

『自立と共生』

校長 石原 健

学校総合体育大会所沢市予選

6月7日、8日、11日の3日間、市内の各会場で令和6年度学校総合体育大会所沢市予選が開催されました。本校からも多くの生徒たちが出場し、各会場では今までの練習の成果を発揮すべく、熱戦が繰り広げられていました。保護者の皆様におかれましては、お子さんの頑張っている姿を見に会場に足を運んでいただき、ありがとうございました。

試合というものは、日ごろの練習の成果を発揮する場であり、勝敗をつけるために行います。ましてや公式戦となれば、勝敗に強いこだわりを持つのは当然です。そんな中、狭山ヶ丘中の生徒たちは大きな声で仲間を叱咤激励したり、具体的な指示を与えたり、自分たちが今までやってきたことを信じて、今持っている力を存分に発揮し、勝利をつかもうとしていました。改めて生徒たちのこの大会にかける思いを感じることができ、私もたくさんの元気をもらった3日間でした。



中学校の部活動は当たり前ながら「プロ（チーム・選手）」ではありません。プロは結果がすべてであり、結果で評価されます。しかし、プロではないこの部活動というものは、勝利も大切ですが、「今までどんな努力をしてきたのか」という過程が大切です。特に「一生懸命に練習に取り組んできたのに結果を手に入れることができなかったチームや選手」は、その努力の成果が今回の大会では発揮できなくとも、その努力は無駄ではなくきっとどこかで役に立つものです。そして、同じ目標に向かって一緒に活動してきた仲間たちとの絆は、これからの人生においても大きな宝物となるはずです。



3年生はここでひとまず「引退」というかたちにはなりますが、アマチュアスポーツに引退はありません。同じ種目を今後も続けていく、違う種目にチャレンジする等々…形は色々あっていいと思います。3年生たちは、この3年間で味わった「感動」、「充実感」、「達成感」そして「悔しさ」など様々な思いを次のステージにつなげ、この先も自分が熱中できる何かを見つけて欲しいと思います。1年生、2年生たちは、先輩方が残していったくれた伝統を受け継ぎ、部として人としてもさらなる成長をしていくことを期待しています。

部活動の地域移行について

皆さんもご存じとは思いますが、現在、スポーツ庁、文化庁を中心に全国的な動きとして部活動の地域移行に向けて様々な取り組みが行われています。そもそも部活動の地域移行は、「少子化により子どもたちの活動を持続的に充実していくことが難しいことや、教員の業務負担等を背景に学校だけでは部活動を支えきれなくなっていること」などを理由として動き出しています。上にも記したように教育的効果もある「部活動」ですが、将来的にはこれまでとは違った形で運営されることが予想されます。今後の国、県、市としての動きにもご注視下さい。



所沢市の部活動地域移行の動きは、

こちらから！ 所沢市の部活動地域移行の動きは、

154552 154552